

平成25年度助成決定一覧表

A. 博物館学芸員等の内外研修に対する助成

決定:11件

助成額 1件/200,000円以内

番号	氏名	所属機関【都道府県名】	研修テーマ等	研修施設名
		役職名		研修期間
1	実吉 玄貴	林原自然科学博物館 【岡山県】	『モンゴル産盗掘恐竜化石の産地同定法の確立』 化石を含む堆積物(石英)のカソードルミネッセンスによる発光中心を用いて、モンゴル当局に押収されたゴビ砂漠産盗掘恐竜化石の産地同定法の確立をめざす。	モンゴル科学アカデミー・モンゴル古生物学センター
		研究員		11/17～26
2	福山 宗志	涌谷町教育委員会生涯学習課生涯学習班 【宮城県】	『宮城県を中心とする内藤政恒瓦資料の研究』 奈良国立博物館の内藤瓦コレクションは、詳細のよく知られていない資料を含めた県内出土古瓦を網羅する貴重な資料群である。整理・公表、活用にあたり、未見資料の基礎情報をデータベース化する継続調査を実施。(昨年度よりの継続) (A-3柳澤和明氏と同テーマ)	奈良国立博物館
		主査		6/1～H25.3/31の間の4日間
3	柳澤 和明	東北歴史博物館学芸部 【宮城県】	『宮城県を中心とする内藤政恒瓦資料の研究』 佐々木茂楨氏の撮影内藤政恒カードの公表にあたり、奈良国立博物館所蔵の内藤政恒瓦コレクションとの比較・検討を行うため、昨年度受けた助成の継続申請。公表は東北考古学に大きく寄与する。 (A-2福山宗志氏と同テーマ)	奈良国立博物館
		上席主任研究員		6/1～H25.3/31の間の4日間
4	村上 一馬	東北歴史博物館 【宮城県】	『盛岡藩の人々と野生動物との関わりー「盛岡藩御側雑書」の調査からー』 盛岡藩日記「家老席日記覚書」と「御側雑書」を調査し、熊・狼などの野獣や猟師(マタギ)の記録を収集する。これをもとにして、盛岡藩領の人々と野生動物との関わりを分析し、東北歴史博物館での展示に還元する。	もりおか歴史文化館
		主任学芸員		7/6～H26.3/10
5	門脇 誠二	名古屋大学博物館 【愛知県】	『西アジア型農業の起源に関する考古学:アゼルバイジャン西部の遺跡発掘と野外博物館活動』 ムギ類の栽培やヒツジ・ウシなどの飼育がいつ、どのように生じたかを解明するために、その起源地の西アジアで遺跡発掘を行う。出土した遺物から当時の人々の生業技術を調べると共に、遺跡公園化の整備を進める。	ハッジ・エラムハンル遺跡、ギョイトペ遺跡(アゼルバイジャン)
		助教		7/20～8/20
6	天笠 咲子	千葉市科学館 【千葉県】	『アジア地域における先進的科学的映像の開発・運用・発信についての調査』 映像シアター等を多数建設している中国の施設において、高度なCG技術や多様なデジタル機器による科学的映像について、その開発・運用理念や発信方法を調査することにより、日本での効果的な科学的映像利用に役立てる。	北京天文館、中国科学技術館他
		天文・プラネタリウムチーム		H26.1/10～17
7	近田 梨絵	新潟県立自然科学館 【新潟県】	『技術系展示物の展示開発と来館者の理解増進のための具体的手法について』 静態展示を主とした技術系展示物の展示開発事例を学び、展示・運営に応用することを目的とする。幅広い年齢層を対象とした展示手法、教育普及活動の調査と、スタッフ、来館者からの聞き取り調査を行う。	コンピューターヒストリーミュージアム、ボストン科学技術館
		企画開発室 企画グループ学芸員		11/30～12/7

8	佐々木とき子	国立科学博物館 【東京都】	『 米国博物館における携帯情報端末の開発・運用・利活用状況についての調査研究 』 米国先進施設における携帯情報端末による展示解説等の開発・運用・利活用状況を調査することにより、当館の展示改修後の携帯情報端末の導入に役立てるとともに、今後の科学系博物館コンテンツ開発につなげる。	セントルイス科学センター 他3ヶ所
		事業推進部広報・常設展示課常設展示・展示案内担当		10/1～11
9	榎永 一宏	滋賀県立琵琶湖博物館 【滋賀県】	『 最新の環境学習における、展示・学習プログラムの開発・指導者研修・運営についての事例研究 』 オーストラリア、香港の先進的な施設を調査し、環境学習における最新の展示・学習プログラムの開発、指導者研修、運営方法等について知見を得、当館の展示リニューアル及び日本における環境学習に役立てる。	オーストラリア博物館 他3ヶ所
		専門学芸員		11/30～12/13
10	渡部 義弥	大阪市立科学館 【東京都】	『 科学博物館のアウトリーチ・館外イベント活動についての調査研究 』 科学博物館のアウトリーチ・館外イベント活動について、先進施設におけるポリシー、施設・設備、人材育成、資金確保、大学など外部との連携、事業プログラムの準備から実施までの実際について、実地調査を行う。	パワーハウスミュージアム 他2か所 (オーストラリア)
		企画広報担当課長 (学芸員)		12/4～15
13	根岸 洋	青森県教育庁文化財保護課 【青森県】	『 先史時代遺跡の効果的展示方法に関する研究～世界遺産登録を目指して～ 』 地下に埋蔵された先史時代の文化遺産の効果的な展示方法について、先進的な経験を持つスイスの博物館等で研修を行い、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録推進活動に還元する。	ルートベルグ市立博物館(スイス)他
		文化財保護主事		9/1～5

B. 博物館に関する国際交流に対する助成

決定:2件

助成額 1件/500,000円以内

番号	博物館名	事業名等	実施場所
			実施時期
1	全国科学博物館協議会 【東京都】	『平成25年度全国科学博物館協議会 海外科学系博物館視察研修』 研修事業の一つとして毎年実施しているもので、加盟館園から参加者を募って視察団を組織し、海外の科学系博物館を視察調査、意見交換することにより、加盟館園の職員等の資質向上を図ることを目的としている。	カナダの代表的な科学系博物館
	理事長 林 良博		H26.1月
2	公益財団法人 日本博物館協会 【東京都】	『イコム大会の博物館見本市(Museum Trade Fair, ICOM Rio 2013)への参加と出展』 今年8月にブラジルで開催されるイコム(国際博物館会議)の大会において、「博物館見本市」へのブース出展を行い、日本の博物館に関する情報を発信するとともに、今後さらに交流を進めるための基盤を構築する。	リオデジャネイロ国際会議場
	会長 銭谷 眞美		8/12~15

C. 青少年の社会教育活動に対する助成

決定:11件

助成額 1件/400,000円以内

分類 番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場所
	代表者名		期間
1	特定非営利活動法人 盛岡YMCA 【岩手県】	『子どもの自然体験活動・東日本大震災被災地支援活動のための青年ボランティア指導者講習会』 ①野外教育活動の指導者の養成 ②被災地復興支援ボランティアの養成 キャンプ、ワークキャンプ、ワークショップを通じて、社会に出る前の青年、高校生たちに他者と関わることによる気づきと成長を促す。	盛岡YMCA・盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 他
	理事長 石渡 隆司		4月～7月、11月～12月、通年
2	ガールスカウト宮城県連盟 【宮城県】	『日本の伝統文化を継承し、より良い行動を目指す青少年の育成事業』 心技体の“そなえ”を果たして自ら考え行動できる人間となれるように、実践的プログラムを通して、個々の力を伸ばす。我が国と世界との関わりを意識しながら、日本の伝統文化を継承する態度の向上を図る。	宮城県内各所
	連盟長 笠間 恵子		通年
3	一般社団法人 宮城県子ども会育成連合会 【宮城県】	『平成25年度(第40回)東北地区子ども会ジュニア・リーダー大会 宮城大会』 東北各県で活躍している中学・高校生年齢相当のジュニアリーダーが一堂に集い、ジュニアリーダーとしての本来のあり方(考える力・実力・自主管理)について研修し、資質の向上を図ると共に、参加したジュニアリーダーがそれぞれの地域で子ども会活動の充実・振興に資することを目的とする。	国立花山青少年自然の家
	会長 菅原 孝行		8/2～8/4
4	復興の詩プロジェクト 実行委員会 【宮城県】	『復興の詩(うた)プロジェクト』 復興への想いを詩の形で募集し、音楽家が楽曲を制作し、毎月街角の復興支援コンサートでこれからの復興を担う青少年たちに発表してもらう。その他に、10月には独唱コンテスト、11月には総括のコンサートを実施。	①街かどチャリティコンサート(藤崎前他) ②独唱コンテスト(エル・パーク仙台) ③コンサート(宮城野区文化センター)
	実行委員長 松尾 英章		①4月～11月(月1回) ②11/17 ③12/7
5	NPO法人 石川・宮森630会 【沖縄県】	演劇 青少年ミュージカル『ヌチヌ グスージ サビラ(命のお祝いをしよう)』(ブーテン物語)の制作発表 地域の伝統文化を、子供たちが歌やダンス、演劇で表現し、継承、発展させる活動に取り組むことにより、子供たちの自主性や創造性、協調性を養い、同時に地域と連携し、地域コミュニティーを活発にする。	うるま市児童館他
	会長 豊濱 光輝		4月～12月
6	国立大学法人 山形大学大学院理工学研究科 【山形県】	『モバイルキッズケミラボ2013』 理科教育の振興と豊かな人格形成を図るため、山形大学大学院理工学研究科教職員の有志と米沢市教育委員会の連携のもと、小中学生を対象とした定期的理科実験教室や各種イベントでの実験教室などを開催する。	米沢市理科研修センター 他
	准教授 木島 龍朗		5月～H25年1月

9	岩手県ユネスコ協会連盟 【岩手県】	『平成25年度 岩手県国際交流活動研修会 ～第10回岩手県高校ユネスコ研究大会～』 県内の高校生が交流を図りながら、国際交 流・国際協力を推進するユネスコ精神や、地 球社会の今日的課題を学び、人々が共存し ていくためにできることは何かを話し合い、行 動力を養う。	国立岩手山青少年交 流の家
	会長 三田地 宣子		H26.1/24～25
10	特定非営利活動法人 胆沢文化会館 自主事業協会 【岩手県】	『奥州ジュニアオーケストラスクール事業』 青少年へ音楽に親しむ機会を与え、練習や 合奏を通じて交流を深め、感性のある子ども の育成を目的とし、県内在住の講師による月 4回ほどのレッスン及び年数回の発表会開 催、施設への訪問や他団体との交流を行う。	胆沢文化創造センター
	理事長 村上 輝夫		5/30～h26.3/31
12	学校法人 芝浦工業大学 地域連携・生涯学習センター 【東京都】	『少年少女ロボットセミナー in 静岡 2013』 小中学生を対象にロボットづくりを通して、モ ノづくりの楽しさ、ロボットの構造などについて 体験学習をさせ、日本の科学技術を担う人材 育成に寄与することを目的とする。	静岡市立高校
	センター長 志村 秀明		9/21～23
13	学校法人 工学院大学 科学教育センター 【東京都】	『工学院大学 石巻市出張科学教室 ～がんばろう東日本！未来の科学者に～』 震災被災地における青少年の教育支援及び 科学教育振興のため、出張科学教室を開 催。子ども達が科学の楽しさを実体験するこ とで科学への興味関心を引き出し、好奇心や 発想力・想像力を育み、青少年の健全育成 に寄与する。	石巻工業高校
	センター長 矢ヶ崎 隆義		6月23日
18	特定非営利活動法人 アマミーナ 【鹿児島県】	『自閉症とともに「屋嘉比ひろしの世界展」 ～コンピューターをキャンパスに～ インカリフォルニア』 日本の親子の軌跡を成功例として米国で紹介 し、発達障害の問題点と解決策を考える。 また、屋嘉比氏の作品から、美しい奄美の風 景を紹介し、離島奄美とチコシティとのアート による国際交流、地域活性化を模索したい。	カリフォルニア州立大 学チョコ校 他
	代表理事 上堀内 ちあき		4/8～5/3

D. 文化及び芸術等の振興に対する助成

決定:9件

助成額 1件/400,000円以内

分類 番号	団体名	事業名等	場所
			期間
2	仙台オペラ協会 【宮城県】	『2013仙台オペラ協会第38回公演「こうもり」』 数あるオペレッタの中でも最高峰と言われるJ.シュトラウス2世作曲の「こうもり」を公演し、手ごろな料金で多くの皆さんに楽しんで頂くことにより、オペラの普及と地域芸術文化の振興に寄与しようとするもの。	東京エレクトロンホール宮城
	会長 藤崎 三郎助		9/7～8
3	N-ovalビル音楽サロン 【宮城県】	『N-ovalビル音楽サロン monthly concert-Monday afternoon-』 クラシック音楽の啓蒙、情操教育の一環として、仙台の一般市民に生きた音を味わって頂くためと、地元若手演奏家の活動の場を提供することとともに育成を兼ね、クラシック音楽コンサートを定期的に行う。	N-ovalビル一階 オープンスペース
	東北大学名誉教授 野口正一		毎月2回 月曜日
4	チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ 【宮城県】	『チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ 第48回定期演奏会 ドリナ・フラティ マンドリンリサイタル・公開レッスン』 マンドリンの母国イタリア出身で世界的名手ドリナ・フラティ氏を招聘し、チルコロ・フローラとのジョイントによるマンドリン芸術の祭典を開催。それに付随して、同氏のマンドリンリサイタルと公開レッスンを催す。宮城県、更に日本マンドリン界の向上並びにマンドリン音楽の浸透・発展を期す。	仙台市青年文化センター他
	主宰 高橋 五郎		10/20、22、23
5	佐取純子モダンバレエスタジオ 【宮城県】	『創作舞踊「青葉と天使」 ～文学と舞踊・音楽の邂逅～』 河北新報の朝刊に506回にわたって連載した「青葉と天使」(伊集院静作)をモチーフに、創作舞踊として(約1時間)具現化。仙台を元気づけ、被災者に寄り添うというメッセージを伝える。ひいては東北の洋舞文化の発展にも寄与したい。	電力ホール
	主宰 佐取 純子		7/14
8	公益社団法人 宮城県芸術協会 【宮城県】	『第50回宮城県芸術祭』 宮城県、宮城県教育委員会、仙台市、仙台市教育委員会、(公財)宮城県文化振興財団、河北新報社と宮城県芸術協会の7団体共催で、宮城県の芸術文化の振興発展に寄与することを目的とする。	せんだいメディアテーク他
	理事長 早坂 貞彦		9月～11月
14	東北大学学術資源 研究公開センター 植物園 【宮城県】	『平成25年度東北大学植物園公開市民講座 -Schola Botanica 2013-』 学内外の研究者を招き、一般向けの植物学およびその関連分野に関する講座を開講し、植物学の普及および地域の社会教育事業の一翼を担う。自然史講座「熱帯の森を訪ねて」を全6回、植物画講座2回を企画している。	植物園講義室
	植物園長 中静 透		5月～11月 10回
24	粋々まちなかプロジェクト 【宮城県】	『うれし楽し蔵deひなまつり ～うれし楽し ひいな街道めぐり～』 歴史的建造物に新たな風と光を当て、地域資源を掘り起こし伝統文化とモダンを融合し、素敵で誇りの持てるまちづくりに貢献。ふれ合いと交流の笑顔あふれる和やかで楽しい「ひな街道めぐり文化」の構築を目指す。	仙台市内、宮城県内
	代表 齊藤 衣代		H26年2月中旬～3月下旬

26	東京こけし友の会 【東京都】	東京こけし友の会創立60周年記念展示会 『友の会の名品と思い出のこけし』 東北の風土で培われた伝統こけしを、蒐集家のみならず多くの人に紹介して、伝統こけしの愛護、普及に努め、合わせて各所に所蔵されている素晴らしいこけしを見ていただく場を提供したい。	カメイ美術館
	会長 橋本 永興		7/9～10/20
32	中山 一粒の種 【香川県】	『中山自然美術館構想』 本団体の活動は、環境保全・生物飼育・教育の三つの軸から展開されてきたが、今年度はアートの部門をプラスし、“アートを通して中山の魅力を伝える活動”(中山自然美術館構想)を展開させたい。	小豆島、中山地区
	会長 亘 和彦		通年